

「山科醍醐こどものひろばのこれまでとこれからをつなぐ 1 年」

周年事業の実施

2025 年度は前身団体から 45 年、NPO 法人化してから 25 年が経過したということで、1 年間を通して周年事業に取り組んでまいりました。

こどもフェスタの開催に始まり、ひろばクイズ、コッペパンコラムのバックナンバーの公開、ひろばインタビュー、JAMMIN との第 3 弾コラボ、冬の交流会、note の開設など幅広く実施してきました。

5 年前である 40×20 周年事業の時はコロナ禍と重なり、大きなイベントは出来ず、そこから続く数年の自粛と縮小により、「会う」という機会が減少しました。そのため今回の周年事業を開催するにあたってこれまでを振り返り、次の 5 年を考えるということテーマとして取り組んできました。コロナ禍で薄くなり、切れつつあったつながりを、改めてつなぎなおしていくことを大切に活動してきた結果、こどものひろばについて関わる、知るという機会を創出できたように思います。このつながりなおしを次年度以降も積み重ねていきたいと思ひます。

子どもの体験活動の充実

子どもの体験活動の充実という目標に対して、2025 年度は、新たに日帰りキャンプを実施することができました。これまでのノウハウを引き継げず、途切れていることもあり、1 からの企画となりました。作り手も未経験者が多いという中で、研修や会議を重ねながら安全に実施できる環境、体制を整えてきました。またわんぱくクラブの継続実施、こどもフェスタも開催できたことから、子どもの体験活動の充実は達成できたといえます。今後は単発の企画に終わらせず、スタッフの募集や研修を強化し、次年度以降も継続できる基盤を作っていきます。

知る、ふれる機会の充実

今年度は子どもの貧困対策事業の一環として、対面形式でのシンポジウムを開催しました。オンラインでは難しかった活発な意見交換や深い交流が可能となり、行政、社協、福祉団体など多様な専門職の方々と有意義な時間を共有できました。

また周年事業として公式 note を開設しました。これまでとこれからを発信という形をつないでいくという思いを持って開設しました。開設と同時に寄付キャンペーンを打ち出したため、子どもの貧困対策事業に関わる発信が多かったですが、スタッフの 10 年間の取り組みの言語化や、活動に対する思いなどを note を通して発信し、多くの方に知ってもらう機会となりました。理事やボランティアなどからも「ひろばと私」というテーマでご寄稿いただき、様々な視点からひろばを語ってもらうことで、外からみえるこどものひろばを知るという機会にもなりました。次年度も活用し、より多くの方にこどものひろばを知ってもらう機会をつくっていききたいと思ひます。

運営財源について

7 年ぶりに赤字決算を解消し、黒字化を達成しました。

収益面では、委託事業（ゆうすぺーすやましな、げんきスポット 0-3 の家賃補助など）の増額が大きく寄与しました。支出面では、事業拡大に伴う人件費や講師謝金が増加しています。特に人件費は、職員増と最低賃金の引き上げにより大幅な増加となりました。

また、2月末の寄付キャンペーンも黒字化の大きな要因となりました。従来の支援者に加え、noteの記事やスタッフのつながりを通じて新たに寄付を寄せてくださる方も多く、「発信」と「つながり」が具体的な成果として現れた結果となりました。

まとめ

この1年は、周年事業という枠組みもありますが、法人の運営指針として、これまでこどものひろばが積み重ねてきたノウハウや思いなどを改めて言語化していくことや、出会うという機会を創出することを大切にしてきました。様々なつながりにより支えられてきたからこそ、ここに焦点をあてつながりなおしていくことにより、次の5年へ踏み出すための一歩となりました。そして、こどものひろばが大切にしてきたことを、次の5年だけでなく、次の世代へもつないでいくことが出来ればと思います。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第 27 年度通常総会】

日時・場所 2025 年 5 月 18 日（日） 10：00～11：30 本願寺山科別院 多目的会館

審議事項 第 1 号議案 議事録署名人選出の件

第 2 号議案 第 25 年度事業経過報告承認の件

第 3 号議案 第 25 年度事業活動決算承認の件

第 4 号議案 第 26 年度事業計画承認の件

第 5 号議案 第 26 年度事業活動予算承認の件

第 6 号義捐 第 27 年度・第 28 年度の役員選出の件

【理事会】

理事 11 人、監事 2 人で構成。（7 月末までは理事 10 人、監事 2 名で構成）

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、オンラインにて開催

開催日 2025 年 4 月 20 日(日)、8 月 1 日（金）、12 月 21 日(日)

2026 年 3 月 22 日(日)

【事務局会議】

法人事務に関して適宜実施し、業務遂行にあたった。

第27年度(2025年度)各事業報告(1)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術鑑賞活動	—	—	—	—	—	—	—
子どもが自ら創る体験活動事業	<u>こどもフェスタ</u> 小規模で子どももおとなも楽しみ、交流できる祭典を実施した。	4月27日	山科青少年活動センター	30名	会員、関係者、地域の子ども、大人100人	100	96
	<u>子どもの体験活動事業</u> 子どもたちの体験活動(野外体験)を実施した。	通年	地域一円	3人	子どもと大人:20人	100	143
	<u>わんぱくクラブ</u> 幼児・低学年部の子どもたちを対象に、野外活動などを実施した。	年4回	みささぎの森他	5人+ボランティア	就園児年少から小学3年生各回20人	204	216
子育てサポート事業	<u>げんきスポット0-3(ぜろさん)</u> 未就園児を持つ親と、その子ども達のサポートを常設会場「げんきスポット0-3」にて実施する。屋根のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0-3	12人	地域の子どもと大人のべ6523人	7278 (委託金7113)	9002 (委託金8827)
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習機会の少ない子ども、また経済的等の理由で体験活動の機会がない子どもへの個別(生活・学習・余暇)支援事業。	通年	地域一円	—	—	—	—
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習機会の少ない子ども、また経済的等の理由で体験活動の機会がない子どもへの個別(生活・学習・余暇)支援事業。コロナ禍の影響を受けた家庭に食材・衛生用品の配布支援も実施。 ※京都地域創造基金事業指定助成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付 ※京都市「きょうはぐふあんど」寄付	通年	地域一円	5人	地域の子どものべ337人	1430 (助成金1200)	1874 (助成金833)
	<u>ひとり親家庭等への生活・学習・居場所サポート事業(子どもの貧困対策事業)</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心に、小学校高学年の子どもとその家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	5人	子ども:のべ337人 保護者のべ9人	9400 (委託金9400)	9755 (委託金9755)
ボランティアサポート事業	<u>ボランティア・研修部</u> ボランティア希望者の、各事業へのコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	—	—	—	—
	<u>講師派遣・インターンシップ受入事業</u> 当法人スタッフの講師派遣及び当法人におけるインターン希望者の受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	500	417
	<u>のびのび@たいむ</u> のびのび事業の利用を終えた高校生等の居場所とボランティア推進事業。	通年	地域一円	2人	—	—	—

第27年度(2025年度)各事業報告(2)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	1人	250部を4回	—	—
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	100部を10回	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちのこどもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	—	—
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—	—
	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	分野連携ボランティアネットワ ーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—	—
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいご・ 醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	5人	おぐりす6人 だいご4人 醍醐支所9人	2713 (委託金2713)	2713 (委託金2713)
	ゆうすペーすやましな 山科区役所の一角を使用しての フリースペース、自習室の運営 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	毎週金曜日	山科区役所	3人	登録96名	1500 (委託金1500)	1700 (委託金1700)
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	—	—	—	—	—